

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	産業活性化懇話会開催事業	会計	一般会計	事業No.	505	施策順No.	12-030
		事業種別	政策・その他	予算科目	7-1-5-10-27		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	工業課		
施策	12 人材育成と企業、人材誘導			事業期間	開始	17	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	地域内外企業						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	ネットワークを構築し、企業立地等の情報や提言をもらう。							
	対象をどう変えるか	・セールスを通して築かれた人脈		10	10	20	25		
	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	対象をどう変えるか	・懇話会出席者数	45	46	60	46	51	60	A
		・企業立地等の情報・提言の提供数	3	5	5	5	20	10	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		セールスを通じて築かれた人脈は着実に増えており、懇話会に多くの出席があった。(名古屋企業懇話会は震災の影響でH23年度に延期)							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	飯田地区、関東圏、中京圏における有力企業との人脈をつくり、懇話会を通じ情報の発信と収集を行い、地域経済活性化に向けた提言や企業誘致情報の提供を受ける機会とする。また、各圏域内の企業交流、飯田地区の企業との交流を活性化させる。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 東京で企業懇話会(交流会)を開催。(名古屋は震災の影響でH23年度に延期) 2 懇話会会員との個別懇談による情報収集	1 懇話会開催回数 2 懇話会会員との個別懇談回数	1 1回 2 16回
23年度実施計画	1 東京・名古屋での企業懇話会(交流会)の開催 2 懇話会会員との個別懇談による情報収集 3 懇話会に参集する方々からの情報による関連企業・人への訪問、情報収集	1 懇話会開催回数 2 懇話会会員との個別懇談 3 懇話会会員からの情報による、会員以外の企業・人との個別懇談	1 2回 2 10回 3 10回

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		622	481	543		
計(A)		622	481	543		
正規職員所要時間			26			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			93			
トータルコスト A+B			574			

4 事業に対する市民や議会の意見

・飯田だけの問題として捉えず、飯伊という広域で相携え推進することが重要である(H20 産業経済委員会 決算認定提言書)

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域内の従業員、地域内の企業、人材を対象に ①事業活動改善する ②企業立地、起業・就職できる	施策の成果指標又はムトス指標	新規立地企業の敷地面積(ha) (工業課で立地補助金を出したものの)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	・飯田市への情報・提言をもらう機会として貢献している。 ・構築したネットワークを使ってさらに関連の企業、人にアプローチすることができた。 ・一度訪問しただけの企業でも懇話会に出席していただくことで、継続性が出て強いつながりになっている。		
	後期に向けた課題	・30歳～50歳の若い世代の人脈を増やしたい。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	・セールスを通じて構築した人脈で、回を重ねるごとに招待者を増やした。 ・出席していただいた方全員に発言をしていただけるようにした。 ・飯田市出身者だけでなく、広い範囲の飯田市に関係のある方々を招待している。		
	後期に向けた課題	・少人数で分割して開催するなど工夫して、参加者同士が情報交換をしやすい状況にしたい。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	・会場として明治大学を借りることで会場使用料を大幅に節減した。		
	後期に向けた課題	・会議形態を工夫する。 ・自己負担金を検討したい。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・市が主導でやるべき事業であり、人脈の構築、情報交換の機会として継続していくべきである。 ・参加者の自己負担金を徴収していない。		
	後期に向けた課題	・年々招待者を増やしてきたので、予算の範囲内で開催することがきびしくなってきた。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①ふるさと・飯田市を応援していただく役割として参加者全員が主体であり、情報・提言をいただいている。 ②懇話会の際に発言していただくだけでなく、できるだけ個別に企業、人を訪問して情報交換をしている。		
	後期に向けた課題	・東京・名古屋だけでなく、地元に住んでいる企業OBの方々から情報・提言をいただく機会を設けたい。		
全体を通じて	4年間の振り返り	懇話会に出席していただいている方々は、企業誘致活動をしていく上で貴重な人脈であるので、本事業を大切にしていきたい。		
	後期に向けた課題	人脈が増えていく中で、限られた予算内であるべくたくさんの情報を得ることができるように開催方法を工夫したい。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--